



日本赤十字社

## 武蔵野赤十字病院

No.57

2018年 春

〒180-8610  
東京都武蔵野市境南町1-26-1  
TEL 0422-32-3111  
季刊 情報誌

### 新棟建築事業へ ご寄付のお願い



当院は今年で創立69年を迎えます。  
地域のみならずのご理解のもと2021年新棟が完成する予定です。  
現在、高度急性期病院として更に設備を整備し医療機能も充実強化した信頼される病院を目指し全力で取り組んでいます。  
つきましては医療・看護の発展に寄与できますよう、多くのみなさまの温かいご支援をお願い申し上げます。



QRコード

お問い合わせ：総務課（寄付金担当）  
0422-32-3111（代表）

### お知らせ

#### 第15回武蔵野市 地域医療連携フォーラム

日：4月14日（土）  
時：14時～16時30分  
場所：武蔵野公会堂ホール  
入場無料



お問い合わせ：医療連携センター

#### ふれあい赤十字デー

日：5月12日（土）  
時：10時～15時  
場所：武蔵野赤十字病院



お問い合わせ：医療社会事業課

- ・コンサート
- ・バザー
- ・フットケア
- など

頼れる病院をめざします

# Eye むさしの

## 外科



まごころを込めて手術いたします。

#### 基本理念

- 病む人への愛
- 同僚と職場への愛
- 地域住民と地域への愛
- 地球、自然、命への愛

#### 基本方針

- (1) 患者・家族から信頼される安全な医療を提供します
- (2) 地域中核病院としての機能向上を図ります
- (3) 地域の医療機関・行政と連携して市民が安心して住める地域づくりを進めます
- (4) 質の高い医療を提供するため、安定した病院経営を継続します
- (5) 働きがいがあり、成長を実感できる職場をつくります

#### 公開講座

講座名	開催日	時間	場所	受講料	申込	問合せ先
糖尿病教室	4/7, 5/19, 6/2	13:00～15:00	山崎記念講堂	無料	不要	医療社会事業課
心臓病教室	5/23	14:00～15:00	山崎記念講堂	無料	不要	循環器科外来
プレおばあちゃん教室	5/16, 7/18	13:00～15:00	南子屋敷和室	2,000円/1人	産婦人科外来	産婦人科外来

★詳しくは当院ホームページ「病院からのお知らせ」・「公開講座・イベント」等でご紹介しています。

## 皆で学び成長できる科、頼りにしていただける外科

### 外科



#### ●外科の基本方針です。

日々当科の診療に多大なご協力をいただき、誠にありがとうございます。当院外科についてご紹介させて頂きたいと思っております。当院外科の基本方針は、腹部救急疾患に迅速かつ適切に対応すること、また地域がん診療拠点病院として消化管・肝胆膵がん診療を充実させていくことです。より一層専門性を高めてみんなで頑張っていきたいと考えています。

#### ●11名のスタッフが日々奮闘中です。

現在、嘉和知靖の副院長以下、11名の外科スタッフで診療を行っております。救急疾患に関しては専門性を問わず全員で、迅速に適切な治療法を選択して、外科治療を行っています。消化管・肝胆膵がん診療につきましては、食道がん・食道疾患は東京医科歯科大学食道外科より派遣されている中馬雄高医師、胃がん・上部消化管疾患は大司俊郎副部長、大腸・直腸がん・下部消化管疾患は、長野裕人副部長と加藤俊介副部長、肝胆膵がん・疾患は高松督部長と入江を中心にして、協力のもと各自の専門性を発揮して診療を行っています。

#### ●低侵襲治療を充実させます。



当院外科では低侵襲治療の充実化をめざして大腸がん・直腸がんおよび早期胃がんに対して、腹腔鏡下手術を積極的に行っています。大腸がん・直腸がんは長野副部長と加藤副部長（日本内視鏡外科技術認定医）を中心に、腹腔鏡補助下大腸切除や直腸切除・切開術をはじめ腹腔鏡下人工肛門造設術など広く、早期胃がんについて

は大司副部長を中心に、腹腔鏡補助下幽門側胃切除、噴門側胃切除、胃全摘、バイパス術等を、高い専門性と技術力を持って、安全で確実な手術を日々行っています。また大司副部長はNST委員長を併任して、術前より積極的な栄養管理を行い、術後の摂食障害など合併症減少化を推進しています。



肝胆膵がん領域では、手技の標準化、さらに安全で確実な手術を提供することを目標にしたいと思っております。また、近年増加している難治がんである膵がん治療の充実を図りたいと考えています。手術適応や術後補助療法、再発治療に関しては、腫瘍内科医とがんセンターボードを毎週行ない、集学的治療を検討・選択しています。



外科・腫瘍内科合同でのミーティング



病棟ミーティング

#### ●3つの大切な柱を提案します。



これからの外科の大切な柱として、「教育」、「学び成長すること」、「チームワーク」の充実を提案していきたいと考えています。臨床研修医および若手外科医の教育は外科にとって、また武蔵野赤十字病院にとっても最も重要な柱です。魅力ある満足度の高い外科教育施設になるよう努力してまいります。さらに、外科医自身が自分の仕事の目標を持ち、専門性を高め、腕を磨き仕事を楽しめる環境作り、また自信を持って外科医療を患者さん、連携医のみなさまに提供できる環境を整備したいと考えます。それらには困難を伴うこともあり、各個人の力だけでは不十分ですが、お互いに協力して支え合うチームワークがあれば、「不可能」は「可能」になると信じています。

#### ●地域の先生方と連携しています。

地域の先生方との連携を大切にして、患者さんをサポートしていきたいです。安心してご紹介していただける外科をめざしています。お気軽にご紹介いただければ幸いです。「照顧脚下（しようにきやつか）」足下をよく見て、その場その場において自分は今、何をしなければならぬか、各自に与えられた仕事に打ち込むことが大切、という禅のことがあります。皆で学び成長できる外科、そしてみなさまから頼りにしていただける外科が目標です。多くのみなさまのご協力が不可欠です、どうかご支援の程よろしくお願い申し上げます。